

# みんなで、カーボンニュートラルを達成しよう！

## 地球温暖化が進行中…

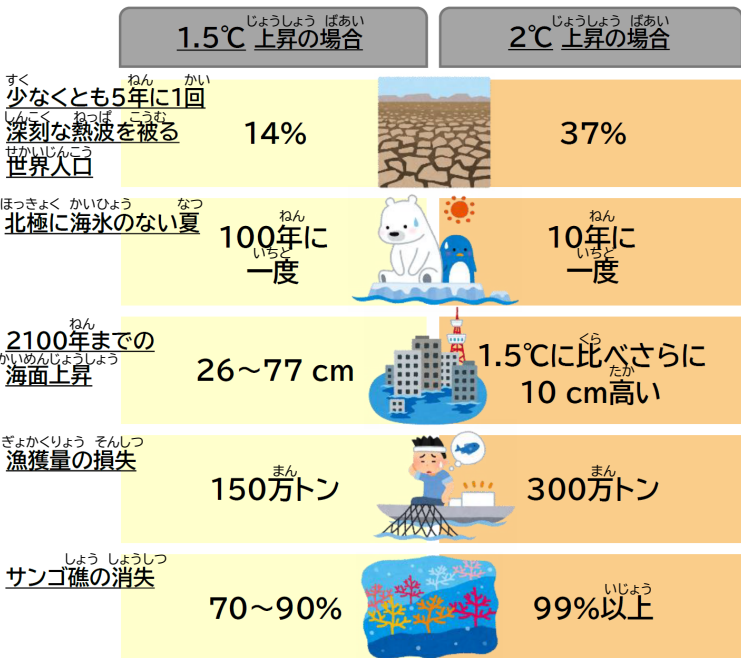
日本の過去100年間の平均気温は1.2℃上昇しています。このまま、何も対策を取らなければ、21世紀末には、20世紀末と比較して、最大3.4～5.4℃上昇すると予想されています。

地球温暖化は、大気中に二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)といった温室効果ガスが増えることが原因となっています。私たちが、自動車に乗ったり、ガスを使ってお湯を沸かししたり、電気を使うことで、化石燃料が消費され、CO<sub>2</sub>が排出されます。

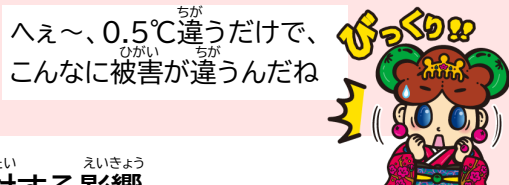
温暖化による気候変動は、私たちの生活にさまざまな影響を及ぼします。

### ●自然災害の増加

洪水、雪害、台風、土砂災害、渇水の増加、激甚化 につながります。



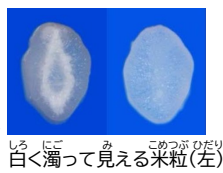
※① 災害の規模や範囲が以前よりも大きく激しくなること ※② IPCC1.5℃特別報告書より作成 ※③ 日本語で「気候変動に関する政府間パネル」と呼ばれる、気候変動について科学的に検討する組織



### ●農産物や水産物に対する影響

米の品質低下や収穫量の減少、ブドウやリンゴの着色不良を引き起こします。

海水温の上昇は、サンマやサケなどの回遊ルートに影響を与え、漁獲量が減少しています。



### ●健康に対する影響

熱中症で亡くなる方の増加や、デング熱を媒介するヒトスジシマカの生息域が北上します。色づきが不十分な果実



写真：農林水産省「平成27年度地球温暖化影響調査レポート」より

## カーボンニュートラルの実現に向けて

政府は2050年、温室効果ガス排出量実質ゼロを目指しています。

「実質ゼロ」とは、温室効果ガスの全体の排出量から、吸収量(植林や森林管理などによるもの)を差し引いてゼロにすることです。これを「カーボンニュートラル」といいます。

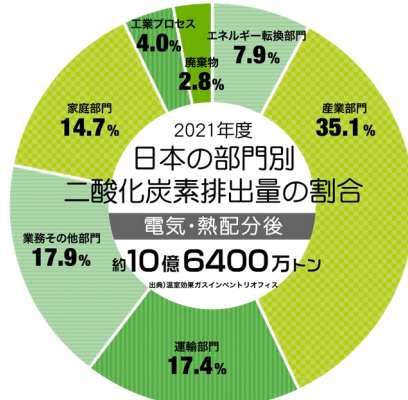


イラスト：環境省より

青梅市を含めて、全国1,013自治体(46都道府県、570市、22特別区、327町、48村)が、2050年までの二酸化炭素排出実質ゼロを表明しています。(2023年12月28日時点)

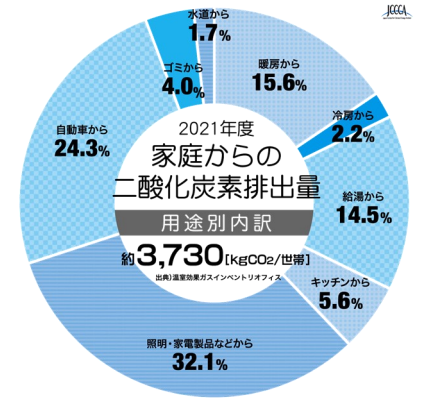
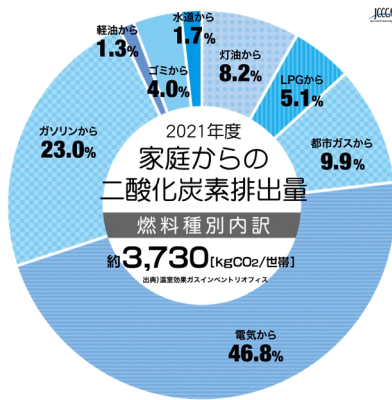
## CO<sub>2</sub>はどこから排出されるの？

2021年度に、日本で排出されたCO<sub>2</sub>は、約10億6,400万トン、一世帯あたりでは約3,730 kg、一人あたりでは約1,780 kgでした。総排出量のうち、家庭は14.7%を占めています。



- ・自家用車の利用を控えて公共交通機関を利用する
- ・冷暖房の温度を1℃変える
- ・見ていないテレビを消す
- ・使っていない照明を切る
- ・歯磨きをしている時には水を止める など

身近なことからCO<sub>2</sub>削減に取り組みましょう



出典：温室効果ガスインベントリオフィス / 全国地球温暖化防止活動推進センターHPより

## 市の取り組み

### ●EV等の導入

公用車として、電気自動車(EV)を40台、プラグインハイブリッド車(PHEV)を7台、燃料電池自動車(FCV)を1台導入しています。



急速充電器(市役所)

市では、EV等の普及に向けて、充電設備の拡充にも取り組んでいます。市役所本庁舎のほか、吉川英治記念館の駐車場にも設置しています。

### ●みどりのカーテン

建物の緑化を行うため、家庭や学校にゴーヤの苗を配っています。植物は成長の過程で、二酸化炭素を吸収するほか、夏の日差しを防いだり、葉の出す水蒸気が周りの温度を下げることで、部屋を涼しくすることができます。



成木小学校

市では、「みどりのカーテンコンテスト」として、外観の美しさや育成努力などを総合的に審査し、優秀者の表彰を行っています。

### 保護者の方へ

東京都は、気候危機への対応とエネルギーの安定確保に向け、電力を「H:へらす、T:つくる、T:ためる」の頭文字をとった「HTT」をキーワードに、節電や太陽光発電、蓄電池等の設置を呼び掛けています。

省エネ・再エネ・創エネ機器、環境に優しい自動車、水素エネルギーなどに関する補助金についての情報はクール・ネット東京のホームページをご覧ください。

【URL】<https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy>

青梅市の補助制度については、市ホームページや広報おうめにて、随時お知らせいたします。申請要件等をご確認のうえ、ぜひご活用ください。

